



清水ヒデキ
豪援隊長・

弁護士・移民コンサルタント
(MARN: 9900985)
「オーストラリアから日本を援けよう」と豪援隊発足。16歳に単身オーストラリアに留学。その後ボンド大学卒業後、QLD州弁護士資格取得。長年に渡り、日本人ならびに日系企業、世界各国のクライアントのコンサルタント業務に従事。

豪援隊かわら版

今月の面白発見

以前、本当に読売新聞に掲載された衝撃的俳句！

『せんぷうきああああああおおお』

みんな心覚えがありますよね。それにしても、それを俳句にしてしまうなんて、その発想がすごいですね。扇風機が季語ですから、ちゃんと俳句ですよ。それでは負けずに筆者もこれに倣って、ここで一句。

『あつ、花火 どどどんとおん どどどん』
大変、失礼いたしました。



<今月の視点>

遅ればせながらの7月号です。日本でのセミナー無事に終えました。ご出席いただいた皆様、暑い盛りをお越しいただき誠にありがとうございました。また、今後も役立つ情報をお伝えできるように頑張りたいと思っておりますので、よろしく願います。

1. 動物的本能

日本である方から、こんなお話をお聞きました。「世の中便利になったら、(人間は)サバイバルの方法を忘れてしまったようだ。」

7月に日本、特に東京を訪れた際にいつも感じるのは、生活のいろいろな部分にある便利性、快適性です。トイレに行けば、ウォシュレットは当たり前。どんなに夜遅くても、街ではコンビニが24時間営業しており、レストランや飲み屋さんまで遅くまでやっています。街を歩いていけば、至るところでWiFiアクセスが可能で、インターネットつなげることも可能です。以前、初アマゾン体験をお話しましたが物流も日本ではオーストラリアとは比べ物にならないくらいに効率的です。

そんな中、中国の業者が賞味期限切れの肉を混ぜて販売していたことが発覚したというニュースが日本滞在中に流れて、騒がれていました。これより前には、粉ミルク、餃子、食肉等、実際には中国だけではなく、日本国内でも賞味期限切れの品物を新しいものと混ぜて売っていたことが問題になったことがありました。

実際にそのような肉が混ぜられていても、すぐに気づくのかどうかは分かりませんが、便利な世の中に慣らされてしまった現代人は、怪しいものを判断する、危険を判断する能力が無くなってきてしまったようです。そう、いわゆる動物的生存本能というのが発動しなくなってしまっているようです。

この便利さと動物的本能の欠如について、先日も思い知らされたことがあります。カーナビです。最近の大体の車にはカーナビが付いています。行き先を登録するだけで、分からない街でもきちんと案内してくれます。大変便利なすぐれものですが、その反面、あまり道を覚えなくなりました。

その昔、といってもそんなに大昔というわけではないころですが、カーナビがまだそれほど普及していない頃には地図を見ながら、あちらこちら、時には迷いながら目的地に到着したものです。いろいろな道しるべ、太陽の方角、街の雰囲気やにおい等、ある意味五感をフルに使って、目的地への到達を果たしていました。おかげさまで、そうしてたどり着いた場所はすぐに覚えることができている気がします。しかし、カーナビに頼る昨今は、単純にカーナビに指示されるままですから、五感を使って目的地に到達するわけではありません。そのため、なかなか道が思うように覚えられなくなりました。やはり、便利さと引き換えに人間が持っていた動物的感覺がどんどん鈍くなってしまっているようです。

なぜ、この話をするかと言いますと、食べ物も五感を使って食べられれば、必然的にその食べ物が安全なものかどうかの判断はできるようになるのではないかと思ったからです。消費者の安全よりも、利益の追求。そんな資本主義に煽られる世の中においては、自分の身は自分で守るしかありません。単純に企業が謳う賞味期限だけで安全性が判断できないこのご時勢、食べ物の色、におい、味など、人間の持つ本来の感覚を呼び戻していく必要があるような気がします。

そこで筆者、ちなみに最近地図を買いました。カーナビは少しお休みです。

2. 国際情勢

中東情勢、ウクライナとロシア、マレーシア航空と様々な国政情勢に関するニュースがお茶の間をにぎわせています。中には、第3次世界大戦につながるのではということも言われる方たちも。。

オーストラリアでも、こうしたニュースは話題になりましたが、どこか対岸の火事的な態度で受け止めている気がします。これも南半球という離れた場所にいるためなのか、国内情勢が不安定で国外情勢まであまり気が回らないのか、はたまた週末の飲み会のことで頭がいっぱいなのか分かりません。どちらにしても、オーストラリアの良いところは、そういったいろいろな国際情勢において比較的安全な立ち位置に居る事かもしれません。

(右上に続←)

<今月のキャンベラお茶の間劇場>

夫:「いやあ、日本商事の安倍ちゃんとは、いい関係が築けたなあ。今回の商談は大成功！」

妻:「あなた、相変わらずにトンチンカンねえ。見事に、商談で成果を得たのは相手の日本商事じゃない。ウチの会社のメリットなんて、たかが知れているわよ。」

夫:「何を言ってるんだ。俺がさんざん交渉したおかげで、ウチが扱っている農作物に対する関税はなくなるんだぞ。そのおかげで、もっと日本商事がウチから買ってくれることになるさ。それに、ウチが日本商事から輸入していた車や電子機器だって、安く輸入できるからますますウチの国内での売り上げにつながっていくはずだ。いいことばかりじゃないか。」

妻:「まったく、やっぱりあなたは何にも分かっていないんだから。いいことばかりだったら、私だってこんな嫌味を言わないわ。あなた、私に隠していることないの。」

夫:「何を言っているんだ。隠し事なんてないに決まっているじゃないか。」

妻:「。。。」

夫:「あっ、日本商事の安倍社長と商談後の食事会で安倍社長と盛り上がってお酒を飲みすぎて、酔ったままテレビのインタビューに答えてたのを怒っているのかい？」

妻:「。。。」

夫:「安倍ちゃん、いや安倍社長が進め上手でさあ。ついつい、そのお盛り上がって飲みすぎちゃったんだよ。安倍社長、いい人だよ。見るからに気さくな人だろ。決して、悪いことするような人じゃないなあ、あの人は。」

妻:「あなた——っ！！その人の良さそうな安倍社長から飲み会の席で何を買う約束したのか、覚えていないの！！」

夫:「。。。」

妻:「あなた、農作物がどうのって自分はいかにもいいことしたなんて顔しながら、安倍社長にしっかりと潜水艦買わされたそうじゃない。日本商事は今、メリケン商事との関係を利用していろいろなところに武器を売り始めているのに、それにまんまとのっちゃって！！」

夫:「安倍ちゃん、いや安倍社長がしきりと薦めるもんだからさあ。ちよつとした出来心で。。。」

妻:「この前は戦闘機、今回は潜水艦。あなたの金遣いの荒さにはあきれは。。。こんなところで油売っていないで、早くカーボン排出経費の件で波間(パーマー)サンたちの派閥の合意を取り付けてきなさいよ。」

夫:「はい、はい。。。」

(右上に続く→)

妻:「(夫が出かけたのを確認して、どこかに電話をかける妻) あっ、丸込(マルコム)さん、例の件予定通り進めてください。」

ますます、急展開を見せるキャンベラお茶の間劇場。来月はどうなるやら。

(注:これはあくまでもフィクションです。)

<ジョーク その1>

新入女子社員が、営業からの電話をメモしておいてくれた。「27万ト円で、257円です。」何のことか分らなかったのですが、しばらく考えてみると、27万飛んで257円、つまり、270257円だということに気が付いた。

(ジョーク集より)

<ジョーク その2>

俺は、吹奏楽部に入っていた。案の定、女子ばかりだが可愛い女子なんてほとんどいなかった。中でも会計係の太った部員はやばかった。そんな会計係が俺に昼休み 女子「ブヒッブヒッ」といって手を出してきたので、俺はお腹が空いたのかと思っておにぎりをあげた。女子は「ちがう。部費よ」

(ジョーク集より)

<今月のなるほど>

【方程式の未知数「x」は、印刷屋さんの都合で決まった】

印刷屋さんが依頼を受けた際、植字であまり使われずに余っていた活字「x」にしてしまい、以後、未知数といえば「x」になったという。

ちなみに、未知数を文字であらわすと思しやすとして、初めて論文に取り入れた人は、フランスの哲学者であり数学者のデカルト。

【東大生の雑学】

イギリスの科学雑誌「ネイチャー」に1955年に発表された論文で、「東大医学部に何月生まれの子どもが多いか」という内容のものがある。

東京大学医学部の卒業生名簿で、ふと生まれ月を調べてみたところ、7月生まれが最も多かったという。

7月生まれは優秀な人が多いのかも。

Go Australia Visa Consultant

ゴールドコースト事務所 住所: Suite no.222 Level 2 Watermark Hotel
3032 Surfers Paradise Boulevard Surfers Paradise QLD 4217
郵送先住所 PO Box 481 Isle of Capri QLD 4217
電話: +61-7-5570-4542, Fax: +61-7-3319-6131 (担当: 関)

ブリスベン事務所 住所: Level 4, 99 Creek Street, Brisbane QLD 4000
郵送先住所 P.O. Box 12257, George St, Brisbane QLD 4003
電話: +61-7-3040-2116, Fax: +61-7-3319-6131

E mail : info@goaustralia-visa.com Website : www.goaustralia-visa.com

<当社お問い合わせ電話番号>

日本から 03-4283-8484 日本時間 8:00~16:00 月~金(オーストラリアの祝日を除く)

オーストラリアから 07-5570-4542 オーストラリア時間 9:00~17:00 月~金(オーストラリアの祝日を除く)